

科目名	デザインベーシック I A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	菊池信二
学科・コース	eエンターテインメント科昼-1年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2単位		
教員の略歴	デザインプロダクションを経て、グラフィックデザイン、イラストレーション、店舗壁画などのクリエイティブワークを幅広く活動。						
授業の学習 内容	平面構成(輪郭線やタッチ、ディテールを使わず、色面のみによる画面構成)の実習を通し、色と形の基本を学ぶ。ポスターカラーによる表現(手作業)の実習を通し、PC作業以前に必要な本質的な基礎力と忍耐力をつける。アイデアラフ～下描き～彩色～仕上げといった作業の流れを把握し、定められた期間内で作品を完成させる自己管理能力を高める。						
到達目標	色(明度・色相・彩度・トーン等)と形(直線・曲線・シルエット等)の特徴を理解し、それらを活かしたバランス良い画面構成ができるようになる。 手順に沿った丁寧なアナログ作業ができるようになる。 また、完成にむけ各工程の時間配分ができるようになる。						
評価方法と基準	課題評価点数70% 準備学習15% 時間外学習の評価15% なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしない。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義と実習	・自己紹介 ・授業の流れ、使用画材についてのガイダンス	
2	/	講義と実習	・「明度」についての講義 ・グレースケールの作成演習 ■提出	・グレースケールによる実習
3	/	講義と実習	・「色相」についての講義 ・12色相環の作成演習 ■提出	12色相環の着彩
4	/	講義と実習	・「彩度」「トーン」についての講義・平面構成のポイントを説明 ・異なるトーンによる平面構成の作成(アイデア出し)	平面構成のアイデア
5	/	実習	・異なるトーンによる平面構成の作成 (ラフデザイン、配色プラン)	・平面構成の配色プラン
6	/	実習	・異なるトーンによる平面構成の作成(下描き、着彩)	・平面構成の着彩
7	/	実習	・異なるトーンによる平面構成の作成(着彩、仕上げ) ■提出	・ペン画による演習
8	/	講評	・グレースケール・12色相環・トーンの平面構成の講評	
9	/	講義と実習	・「色と形のイメージと心理的効果」について講義 ・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成(アイデア出し)	・平面構成のアイデア
10	/	実習	・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成 (ラフデザイン、配色プラン)	・平面構成の配色プラン
11	/	実習	・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成 (下描き、着彩)	・平面構成の着彩
12	/	実習	・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成 (着彩、仕上げ)	・平面構成の着彩
13	/	実習	・「暖かい/冷たい」を表現した平面構成の作成 (着彩、仕上げ) ■提出	・平面構成の着彩
14	/	講評	・ペン画による線画 ・「暖かい/冷たい」の平面構成の講評	
15	/	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題内容や資料のプリントを随時配布。講義の授業ではテキスト「DESIGN BASIC」を持参のこと。				

科目名	デッサン1B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	郷治
学科・コース	eエンターテインメント科昼-1年A	授業形態	実技	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	東京芸術大学油画卒業／画家						
授業の学習 内容	絵を描く基礎体力として、デッサン力を磨きます。 デッサンの基礎は観察力です。目の前の対象から、何を情報として引き出すのか、それをどう画面上で表現するのかを学んでいきます。 アナログならではの素材(紙や鉛筆、木炭など)に対する理解や習熟を目指します。 これらを磨くことで、描写力は自然に身につけていきます。						
到達目標	道具の適切な扱い方の修得(鉛筆を削る・練りゴムを使う・鉛筆や測り棒を使って比率を測るなど) デッサンの用語とその意味の理解。 先入観にとらわれない、客観的な「観て描く」姿勢の修得。 デッサンする上で、「形態」「空間・光」「質感」「構図」について表現する力を身につける。						
評価方法と基準	「形態」「空間・光」「質感」「構図」 提出課題に対して、上記項目が表現出来ているかを評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	演習	剥製【デッサンについて】	クロッキー(人体・身の回りのもの)□
2	4月25日	演習	〃	〃
3	5月9日	演習	石膏首像【比率・形】	〃
4	5月16日	演習	〃	〃
5	5月23日	演習	〃	〃
6	5月30日	演習	有色地デッサン(電球)【明暗と描写】	〃
7	6月13日	演習	〃	〃
8	6月20日	演習	〃	〃
9	6月27日	演習	静物(ガラス+幾何石膏)【パース・空間】	〃
10	7月4日	演習	〃	〃
11	7月11日	演習	学生クロッキー【人体表現】	〃
12	7月18日	演習	人物クロッキー【人体表現】	〃
13	8月29日	演習	人物デッサン【人体表現】	〃
14	9月5日	演習	〃	〃
15		試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習		前授業の復習および提示課題制作□		
【使用教科書・教材・参考書】				
デッサン用具一式(鉛筆・練りゴム・ガーゼもしくはティッシュ)				

授業名(時間割表記)	デッサン I D	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	荒井
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー1年B	授業形態	実技	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、たくさん描き画力をつける						
到達目標	様々な対象を時間に応じた描き方を習得する。密度の高い絵と素早く描くクロッキーを描けるようになる						
評価方法と基準	課題評価点数 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/16	実習と講義	デッサンの心得準備 陰影法など	ものの観察スケッチ
2	4/23	実習と講義	図学遠近法とは何か1 直方体	図学遠近法の確認
3	5/7	実習と講義	図学遠近法とは何か2 回転体	図学遠近法の確認
4	5/14	実習	質感表現1 布など	日用品を描こう
5	5/21	実習	質感表現2 石など	日用品を描こう
6	5/28	実習	質感表現3 ガラス金属など	日用品を描こう
7	6/11	実習と講義	工業製品を描く1 瓶	観察スケッチ
8	6/18	実習	工業製品を描く2 ブロック	観察スケッチ
9	6/25	実習と講義	人物描写 クラスメートを描く	自画像や身近な人をクロッキー
10	7/2	実習	自然物の描写1 野菜など 質感表現	野菜果物を描こう
11	7/9	実習	自然物の描写2 花など 質感表現	野菜果物を描こう
12	7/16	実習と講義	ヌードクロッキー 女性	人物写真の模写
13	8/27	実習	身体の描写 手、足など	身体のパーツを描こう
14	9/3	実習	クロッキー スケッチ他	
15	/	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考 鉛筆セット カッターナイフ 練り消しゴム (クロッキー帳)				

科目名	デッサン ID	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山崎隆
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
学科・コース	eエンターテインメント 科昼-1年D						
教員の略歴	1981武蔵野美術大学大学院造形研究科修了 1982～2003 同大学共通彫塑研究室助手・講師						
授業の学習 内容	①観察力を高める ②全ての教科の基礎となる ③自己の眼、五感を通し想像する力を高める ④描くことへの先入観や苦手意識を取り省きながら、簡単な形態から徐々に難しいものの描写へと進める						
到達目標	①遠近法をしっかりと理解する ②立体的にモチーフを観察できる ③存在感のあるしっかりとした描写が出来る						
評価方法と基準	①各授業ごとの理解度 ②前期2回程度のコンクール形式の作品の点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	実習	基本的道具の使用方法 ケント紙による立方体の作成	次回提出までに仕上げる
2	4月26日	実習	立方体の描写	次回提出までに仕上げる
3	5月10日	実習	黒長靴の描写	次回提出までに仕上げる
4	5月17日	実習	遠近法・1	次回提出までに仕上げる
5	5月24日	実習	遠近法・2	次回提出までに仕上げる
6	5月31日	実習	遠近法・3	次回提出までに仕上げる
7	6月14日	実習	量感のあるモチーフ・1	次回提出までに仕上げる
8	6月21日	実習	量感のあるモチーフ・2	次回提出までに仕上げる
9	6月28日	実習	コンクール	無し
10	7月5日	実習	クロッキー(友人)	次回提出までに仕上げる
11	7月12日	実習	友人像	次回提出までに仕上げる
12	7月19日	実習	自画像	次回提出までに仕上げる
13	8月30日	実習	自由課題	次回提出までに仕上げる
14	9月6日	実習	コンクール	無し
15		試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

授業名(時間割表記)	写真テクニックⅡ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	早川花
学科・コース	eエンターテインメント科 昼ー2年B	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	美術大学講師3年・専門学校講師30年						
授業の学習内容	目で見ている対象がカメラレンズを通すとどのように写されるのか、また、光や構図についても学習し、アニメーション制作に生かすことができるようにする。デジタル一眼レフカメラの使い方を学び、対象(被写体)をおもうように撮影できるようになる。撮影したものは自分の資料としてまとめていく。カメラは視覚によるメモができる道具だと考えて使いこなしてほしい。						
到達目標	デジタル一眼レフカメラの基本操作ができる。光を読み、絞りとシャッタースピードを使った撮影ができる。被写体やテーマによってレンズを生かした構図で撮影できる。カメラと写真の用語を理解し使うことができる。撮影したものの中から選びプリントしまとめることができる。						
評価方法と基準	授業毎の撮影を学習課題としてプリントした写真と夏期課題をプリントした写真を1冊にまとめたものを提出物とする(90%)。筆記試験(10%)。※理想的な達成レベルは撮影の全内容が1冊にまとまっており、筆記試験も出来ている。標準的な達成レベルは全内容はあるがばらつきがあり、筆記試験はほぼ出来ている。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/15	講義・実習	自己紹介/カメラの仕組み・基本操作ができる	SDカードを3回目までに用意する
2	4/22	実習	絞りとシャッターを使った撮影ができる	
3	5/13	実習	レンズの種類による写り方の違いを撮影できる1	
4	5/20	実習	風景をレンズ効果を生かして撮影できる	風景写真をプリントする
5	5/27	実習	人物を標準レンズと基本構図で撮影できる	人物写真をプリントする
6	6/3	実習	レンズの種類による写り方の違いを撮影できる2	
7	6/17	講義・実習	風景写真の構図を分析できる/プリント提出	
8	6/24	実習	建物の外観や室内を撮影できる	建物の写真をプリントする
9	7/1	実習	建物の外観や室内+人物を撮影できる	建物の写真をプリントする
10	7/8	実習	ライティングによる人物の印象の変化を撮影できる	ライティングの写真をプリントする
11	7/22	実習	ライティングによる人物の印象の変化を撮影できる	ライティング/夏期課題を撮影しプリントする
12	8/26	試験・実習	試験/プリント提出とプレゼンテーションができる	
13	9/2	実習	平面作品(デッサンなど)を撮影できる=複写	
14	9/9	実習	平面作品(デッサンなど)を撮影できる=複写	
15	/		評価週	
準備学習 時間外学習		前授業の復習および提示課題制作		

【使用教科書・教材・参考書】

毎回授業内容プリント配布。学校共用のデジタル一眼レフカメラ・交換レンズ・三脚・ライト使用。SDカードは各自3回目までに用意。

授業名(時間割表記)	デッサンⅢB	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー3年B	授業形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、たくさん描き画力をつける						
到達目標	様々な対象を時間に応じた描き方を習得する。密度の高い絵と素早く描くクロッキーを描けるようになる						
評価方法と基準	課題評価点数 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/15	実習と講義	幾何学形態を描く1 直方体	図学遠近法の復習
2	4/22	実習	幾何学形態を描く2 回転体	図学遠近法の復習
3	5/13	実習と講義	風景画を描く 1、2点透視図法	近所の風景を描こう
4	5/20	実習	風景画を描く つづき	風景写真の模写
5	5/27	実習	工業製品を描く1 図学遠近法の実践	日用品を描こう
6	6/3	実習	工業製品を描く2 図学遠近法の実践	日用品を描こう
7	6/17	実習	身体パーツを描く 目鼻口耳など	観察スケッチ
8	6/24	実習	石膏全身像スケッチ他クロッキー	人物写真の模写
9	7/1	実習と講義	ヌードクロッキー 身体のプロポーション	家族や友人をクロッキー
10	7/8	実習	自然物の描写1 野菜など 質感表現	野菜果物を描こう
11	7/22	実習	自然物の描写2 花など 質感表現	野菜果物を描こう
12	8/26	実習と	セミヌードクロッキー 身体のプロポーション	人物写真の模写
13	9/2	実習	石膏デッサン	陰影法のトレーニング
14	9/9	実習	石膏デッサン つづき	陰影法のトレーニング
15	/	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考 鉛筆セット カッターナイフ 練り消しゴム (クロッキー帳)				